

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第17報～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年7月22日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

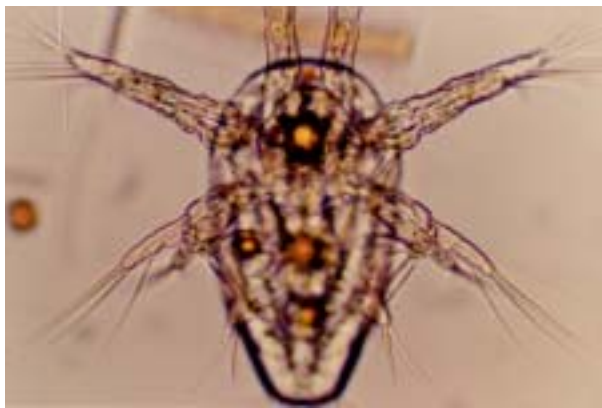
### 植物プランクトン第1優占種



***Cryptomonas* sp.**  
(クリプトモナス)  
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。等長の2本の鞭毛を持つ。

### 動物プランクトン第1優占種



**Nauplius**  
(ノウプリウス)  
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。中央に円盤状の口を有する。

#### コメント

植物プランクトンは、前回に引き続きクリプトモナスが優占種となった。動物プランクトンは、個体数は少なかったがノウプリウスが優占種となった。本種は、ケンミジンコの卵から孵化した時期の幼生であり、大きくなるとヤマトヒゲナガケンミジンコになる。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Nauplius</i>	40

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪 虫 類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	25

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

## (2) 植物プランクトン

平成14年7月22日

第17報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	2		
(藍) <i>Aphanocapsa elachista</i> var. <i>conferta</i> *	10		
(藍) <i>Gomphosphaeria</i> sp.*	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	2		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	26		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i> f. <i>spiralis</i>	7		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	14		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	220		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Pleodorina californica</i>	120		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	3		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	2		
(他) その他の植物プランクトン	10		
(藍) 藍藻綱	22	3.8	20.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	79	13.5	8.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	340	58.0	51.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	135	23.0	20.0
(他) その他のプランクトン	10	1.7	0.0
総細胞数	586	総体積	7.68E+05
種類数	17	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし\*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

参考